

「仙台市図書館利用者懇談会」（令和6年度）を実施しました。

日頃、仙台市図書館を利用いただいている方々から様々な意見を直接伺い、今後の図書館サービスの向上に活かせるよう、4地区館、2分館で利用者懇談会を実施しました。



（市民図書館での様子）

《実施状況》

館名	実施日時、会場 出席者
市民図書館	令和7年2月8日（土）10時～11時40分 せんだいメディアテーク2階 スタッフ会議室 出席者9名（個人利用者4名、市民図書館5名） ※予定していた個人利用者1名は欠席
泉図書館	令和7年2月8日（土）10時00分～11時30分 泉図書館2階 大研修室 出席者10名（個人利用者6名、泉図書館4名）
宮城野図書館	令和7年2月18日（火）13時30分～14時40分 宮城野図書館 視聴覚室 出席者10名（小学校1名、ボランティア団体2名、区文化センター1名、区中央市民センター1名、児童館・のびすく1名、宮城野図書館4名）
太白図書館	令和6年10月18日（金）11時～12時20分 太白図書館地下1階 視聴覚室 出席者4名（個人利用者2名、太白図書館2名）
若林図書館	大規模改修工事のため、令和6年度は実施せず。
広瀬図書館	令和7年2月5日（水）13時30分～15時 広瀬市民センター2階会議室 出席者10名（個人利用者2名、児童館1名、地域包括支援センター1名、広瀬図書館4名、指定管理者2名）
榴岡図書館	令和7年2月14日（金）13時30分～15時 生涯学習支援センター5階 第2セミナー室 出席者11名（生涯学習支援センター1名、歴史民俗資料館1名、ボランティア団体1名、管理事務所1名、中学校1名、小学校1名、榴岡図書館3名、指定管理者2名） ※予定していた個人利用者2名は欠席

図書館から令和6年度の図書館事業の概要と取り組み状況を説明し、出席者全員から意見や要望をいただき、説明や回答を行いました。たくさんのご意見をいただいた中から、主なものをご紹介します。

《出席者からの主な意見》

【市民図書館】

- ・ 書架の側面に置いてあるおすすめ本は興味を引くものばかりで、職員の方々のセンスを感じる。
- ・ おすすめ本のコーナーから本を借りたことがある。借りる本のジャンルは偏ってしまいがちなので、新たなジャンルの本に出会うきっかけになっている。
- ・ 土日は閲覧席が埋まっていることが多く、自由閲覧席なので利用の仕方は様々だと思うが、何もせずただスマートフォンを使用しているだけの利用者もいる。個人的には読書や自習等に用途を限定したり、呼びかけを行った方がよいと感じることがある。
- ・ 他図書館との連携により本を取り寄せてもらえるのがありがたい。
- ・ 返却ポストがあると、休館日や図書館以外のフロアに用があるときはポストにすぐに返却できるので便利。回収の手間や本が傷つかないような仕組みを考えると非現実的だとは思いますが、駅にも返却ポストがあると嬉しい。
- ・ 本を借りるとまず返却することを考えてしまい、急いで読むこともある。貸出期間を3週間に延ばしたり、貸出延長できることをもっと周知した方がよいと思う。
- ・ 久しぶりに文庫本を取り寄せてみたところ、古くて文字も小さく読みづらかった。予算の都合等もあり勝手な考えかもしれないが、思い切って処分するのもよいのではないかと感じた。
- ・ カウンターに並ぶと職員の方がすぐに声をかけてくれるのがありがたい。

【泉図書館】

- ・ インターネットから予約を入れて月2~3度は来館している。働いていて館内を回って本を選ぶ時間がなかなか取れないのでありがたい。
- ・ 『世界一かんたんな図書館の使い方』という本から図書館での色々なサービスの存在を知って利用させてもらっているのだが、この「サービスの存在を知る」ところにハードルがあるように思う。レファレンスもデータベースサービスも図書館内に一応掲示はあるが、他にどのように知らせていけるかは難しいところかもしれない。また、自分の借りた本の履歴が確認できないのは不便に感じている。
- ・ 最新刊に予約をしても1年待ちとなることがある。図書館として購入冊数を増やすことは難しいと思うが、遅れた方に督促するなどしてできるだけ早めに回るようにしてもらいたい。
- ・ 友人が電子図書館を利用しているが、24時間利用可能で返却忘れも無いので便利と言っていた。今後新刊等借りられる本の拡充があればありがたい。
- ・ 色んなサービスがあることに気づいてもらえていない状況があると思う。発信の仕方について考えていただければ。
- ・ カウンター前でいつも行っている企画展示、新しい本との出会いとなっている。
- ・ 今日来てみて、図書館サービスについての資料が多くて驚いた。こうした利用案内を町内会から各世帯に配って図書館に目を向けてもらう、といったことは出来ないだろうか。特に子どもの小さいところへ。本を欲しくても買えない子もいるだろう。資料自体も子どもでも分かるよう難しくない言葉で作成してもらえると良いのではないか。
- ・ 複数の本を予約している際に、一度に多くの本の順番が来てしまい読み切れないことがある。予約自体はそのまま「今回は飛ばして次の順番に」といったことができると便利かと思う。

【宮城野図書館】

- ・宮城野図書館の児童書はきれいに並んでおり探しやすい。
- ・書棚に様々な本が展示されていることで、知らなかった本と出会えることもあり、楽しみに来ている。
- ・ぬいぐるみおとまり会がとてもかわいいと思った。
- ・テーマ展示やぬいぐるみに本を選んでもらったりすることで、普段自分で選ばない本を手取る機会になり、興味も広がるのではないかと思った。
- ・学区の中にこのような大きなきれいな図書館がある環境は恵まれていると感じている。子どもたちにはもっと足を運んでたくさんの本に触れてほしい。
- ・学校図書館にも学習の中で使われる関連本のコーナーがあるが、図書館にはさらに多くの資料があることを子どもたちに知らせ、学習とリンクすることができれば、子どもたちの学びもより深まるのではないか。
- ・子どもや高齢者向けの行事は多いが、その中間の年齢層向けの事業が少ないように感じる。
- ・働いている世代の方々を対象にした講座であれば、参加しやすいよう実施時間を夜間にするなどの工夫も必要ではないか。
- ・児童館の行事におはなし会で来ていただいたり、夏休みなどの長期休業時に子どもたちが図書館を利用したりしており、子どもたちは毎回楽しんでいる。また、天候にかかわらず行き来することもでき、複合施設の利便性を感じている。

【太白図書館】

- ・以前子どもと参加したバックヤードツアーが大変楽しく、心に残っている。大人向けのツアーもあるとよい。
- ・返却された資料が乗っているブックトラックを見るのが好きだ。利用者も同じようで、じっくりとそのトラックから選んでいる様子をよくみかける。
- ・電子図書館もよく使っている。雑誌なども便利で、もっと利用が広がればよいと思う。
- ・満席のことがあるので、もっと閲覧席があればと思う。多賀城市の図書館はソファがあつてよい。
- ・太白図書館は静かで落ち着く。
- ・高校生の子どもがいるので、視聴覚室が閲覧スペースとして開放されたのは嬉しい。

【広瀬図書館】

- ・WEBで検索すると9割方の読みたい本は仙台市図書館に所蔵されているので、他館から取寄せてもらえて読むことができ、私としては満足している。
- ・今の利用スタイルでは、とにかく予約をして待っていれば必ず提供してもらえるし、仙台市に所蔵のない本も購入や他県の図書館からの取り寄せで手元に届けていただけるので、本当に利用しやすく、自分自身のスタイルとしてはすごく満足をしている。
- ・ヤングアダルトに向けた取組などを見ていて、図書館側としてもこの世代に対する働きかけをしていきたいということは感じるが、実際には本当に本に触れない世代になってしまっていると思う。
- ・「本の福袋」のファンで、始まった最初の頃から毎回借りている。家に帰って開けてみると、これは絶対私は手にとらない本だなというものが入っているので、お正月明けに楽しい時間を過ごすことができる。
- ・広瀬図書館に期待したいのは、指定管理者として民間企業のノウハウを活用していくこと。マーケットの中で見ているノウハウをもっと活かしていけるのではないか。マーケットで得た知見で図書館に対する興味関心を高めてくれるような取組を行ってほしい。

- ・予約をして本を取り寄せてもらって借りるということを繰り返す利用のスタイルを維持したいと考えた場合に、自宅まで届けてもらうというのはなかなか難しいと思うが、近くの小学校などで受け取ることができるサービスがあれば、車が使えなくなっても読書が続けられるのかなと考えている。
- ・広瀬図書館にある資料を検索端末で探した時に、「書庫」などの職員に持ってきてもらう必要のある所蔵場所とそうでない所蔵場所の区別が分からないと感じたことはある。

【榴岡図書館】

- ・市民センターの活動をジュニアサポーターの生徒が取材してくれて、一生懸命レポートを作ってくれていた。仙台市では不登校の子どもたちがとても多い中、ジュニアサポーターの活動はやりがいを感じる大切な場だと思う。
- ・イスを増やしてほしいという意見があるようだが、ゆっくり座るスペースは必要だと思う。
- ・本の履歴が残る読書通帳は子どもが大人になった時に振り返ることができるので、機械の導入を検討しても良いと思う。
- ・図書館との連携講座を年2回実施している。外に出て、歴史民俗資料館を知ってもらうこともひとつだが、図書館に事業として連携してもらうことで、更に図書館の利用者で歴史民俗資料館を利用したことがない人にも知ってもらう良いきっかけになっていると思う。
- ・利用者アンケートの報告に、レファレンスサービスの利用が少ないとあるが、ボランティア団体では大いに利用している。以前自分が調べ物をした際、すぐに提供してくれた。
- ・本の情報をうまく出せるようにしてほしい。連携事業でも関連本を並べてもらったが、講座ではすぐに手に取ることができる仕掛けは作ってほしい。古い本でも、自分が探している本の他に「こんな本もあった」と手に取れるのは、利用者にとっては読んだことのない本と出会う良い機会だと思う。本来の業務優先にしつつ、今後検討してほしい。
- ・子どもたちにとって図書館は、誰からも何も言われたい、時間の制約もない場所だと思うので、新しい知識を入れるためにどんどん活用してほしいと思う。